

地域おこし協力隊活動報告書 令和7年3月分



古家のぞみ

出身：千葉県市川市
趣味：編み物
着任日：令和5年4月（2年目）



活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

園の解説案内等

暖かい日が増えて、冬眠していた生き物が次第に動き出すようになりました。県内外から虫好きの親子連れや学校団体が来園され、自然について楽しく学んでいただけるように解説案内を実施しました。3月も土日を中心に解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動しました。一般案内は6回、21名対応しました。

また、3月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介をしました。2月に新しく見られた生き物はアカガエル科の卵など2種類、引き続き見られる生き物はヤマガラなどの16種類を紹介しました。

園内で新しく見られた生き物

<アブラナ科の花とニホンミツバチ>



暖かい日が増えてきて、多くの花が咲き始めています。たびら昆虫自然園の畑では、アブラナ科の花に多くの昆虫が集まっている姿が確認されました。お昼ごろのあたたかい時間帯になると、花粉や蜜を集めるニホンミツバチが多く活動しています。生き物の観察に適しているこの時期は、道端の植物に注目してみてもいいかもしれません。

イベントの報告



1日（土）に放課後児童クラブビートルで実施された「昆虫模型づくり」では、講師としてイベントを実施しました。約15名の児童がチョウ・トンボ・カブトムシの中から好きな昆虫を選び、自分だけの昆虫模型を作成しました。昆虫の体の構造についての理解を深め、自然への興味を持つことで、田平町が自然の多い素敵な故郷として思い出に残る事を目的に実施しました。

退任のご挨拶

2023年4月より着任し、あっという間に2年が経ちました。この度3月末日をもって地域おこし協力隊を退任いたします。

1年目は園での解説案内を行いながら解説指導員の会の業務やたびら昆虫自然園の維持管理、まち協に参加しながらまちづくりについて学び、2年目からはそれに加えて公民館講座などを行ってきました。社会に出て初めての仕事で右も左もわからない中、ご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、多くの皆様に支えられ、育てていただきました。千葉県市川市から平戸市に移住し、毎日が勉強の2年間でした。

特に印象に残っているのは、園内の解説案内を実施している時のことです。子供向けに自然体験を実施した際に、来園者が楽しそうにカブトムシを触ったり、モミジの種を飛ばしたりしている姿です。「子どもたちがとても楽しそうにできて、来てよかったです。」「また遊びに来ます。」などの感想をいただくこともあり、子どもを対象にした自然体験の重要性に改めて気づきました。

豊かな自然と人のあたたかさに魅了された田平ファンの1人として、今後は平戸市と間接的ではありますが関わることが出来ればと考えています。

2年間本当にありがとうございました。

